



金沢の偉人大橋新太郎・生誕 150 年記念 大橋新太郎別荘跡碑建立



金沢区では、区民の方に金沢区により誇りと愛着を持っていただく事を目的として、金沢に偉大な功績を残し、平成 25 年に生誕 150 年を迎えた大橋新太郎に焦点を当てた歴史プロモーションを展開してきました。

これらの取組を受けて、多くの区民が地域の歴史に興味を抱き、大橋新太郎別荘跡地にある地域（西柴団地）では、有志の寄付により記念碑を建立しました。金沢区役所もこの想いを受け、記念碑脇に大橋新太郎と別荘跡を紹介する看板を設置しています。

また、大橋新太郎別荘跡碑建立を受けて、4 月 6 日（日）に地元有志主催のお披露目会を開催します。



大橋新太郎別荘跡碑

金沢の風景を愛した大橋新太郎は、明治 40 年（1907）頃、称名寺に隣接する海岸寺跡に別荘を構えました。広大な敷地内に牡丹園を設け、花の季節には一般公開し、近隣住民を楽しませました。かつての別荘があったとされる金沢町第二公園に、西柴団地の有志で碑を、区役所が説明看板を建立しました。



大橋新太郎別荘跡碑お披露目会

大橋新太郎別荘跡碑を建立した西柴団地の有志によるお披露目会を開催します。

- 日時 平成 26 年 4 月 6 日（日）14 時～
- 場所 金沢町第二公園（金沢区金沢町 184-132）

※取材をご希望の方は、直接会場にお越しください。



金沢の偉人・大橋新太郎



大橋新太郎は新潟県長岡市の出身。父の佐平が東京で開業した「博文館」を継ぎ、出版活動を精力的に展開して近代文化の発展に貢献するとともに、共同印刷や書籍取次の東京堂を創設して、印刷から販売にわたる出版コンツェルンを築きました。その経営手腕は渋沢栄一にも認められ、数々の大企業の役員を任され、財界の重鎮として活躍し、貴族院議員にも選任されました。

金沢を愛した新太郎は、この地に別荘を構えたほか、称名寺の復興を支援し、神奈川県による金沢文庫復興計画に賛同し、建設費の半分を寄附しています。昭和10年(1935)には金沢山に八角堂を建て、百観音巡拝の石仏を寄進するなど、地域振興に尽くしました。



大橋新太郎生誕 150 年記念事業

大橋新太郎生誕 150 年を契機とし、県立金沢文庫と連携協定を締結。県立金沢文庫と協働で大橋新太郎をはじめとした区内の歴史的な魅力を発信しました。

大橋新太郎生誕 150 年記念事業

平成 25 年 3 月 22 日	県立金沢文庫とのプロモーション協定締結
6 月 14 日 ～10 月 6 日	県立金沢文庫企画展「大橋新太郎コレクション I (ほとけのすがた)・II (ふみのかたち)」開催
7 月 1 日	広報よこはま 7 月号に大橋新太郎生誕 150 年記念特集記事掲載
7 月 28 日	県立金沢文庫と共催で大橋新太郎生誕 150 年記念講演会を開催
7 月 29 日	大橋新太郎生誕 150 年
平成 26 年 4 月 6 日	金沢町第二公園に大橋新太郎別荘跡碑建立 お披露目会の開催



広報よこはま平成 25 年 7 月号

※写真提供（表面：題字部分、裏面：大橋新太郎肖像）大橋家、酒井宣子

お問合せ先
金沢区地域振興課 学校支援・連携担当課長 西田 浩久 Tel 045-788-7799